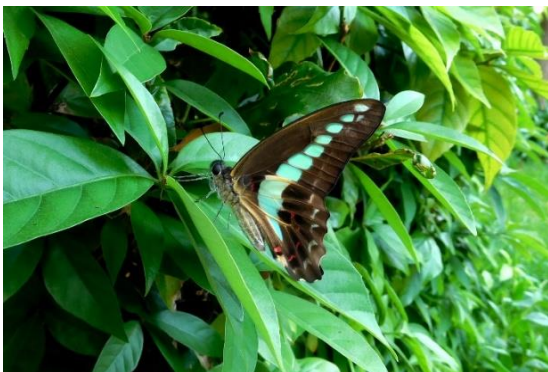


和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
アオスジアゲハ	アゲハチョウ科	黒地に映える青いスジ	◎	x	○	本州以南



生田緑地 5月初旬 ヒメジョオンに飛来



ハイム内 8月上旬 全く動かない、熱中症？



東高根東森林公園 10月上旬 キバナコスモス



三齢幼虫 9月下旬 ハイム内広場のクスノキ。上の方の葉裏に卵も見える

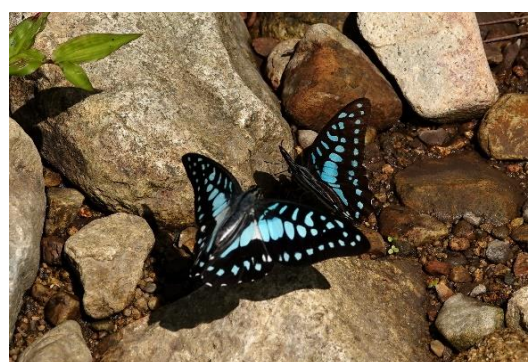
成虫発生時期（月）											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
食草 ○ 食樹				発生回数/年				越冬形態			
クスノキほか				3~4				蛹 (さなぎ)			

ハイム内にはクスノキが多く、この木の葉を幼虫が食することからハイム内でもよく見かける蝶（とはいえ飛ぶのは速い）ですので見覚えのある方も多いのではないのでしょうか？

クスノキは都市公害に強い街路樹としてよく植えられ、防虫剤の原料としても使われているので、それを食用にしてしまうアオスジアゲハが機敏に飛び回るのもなんとなく納得がいきます。

春から秋にかけて何回か世代交代するのでハイム内のクスノキの若葉をよく見ると、卵や幼虫が簡単に見つかります。

ハイム周辺にはいませんが、よく似たアゲハに羽模様がもう少し複雑なミカドアゲハというのがいます。九州、紀伊半島以南・四国の南側に生息する暖地性の蝶でアオスジアゲハとは異なりオガタマノキほかのモクレンの仲間のを食樹としています。



ミカドアゲハ 石垣島 10月中旬 河原で吸水



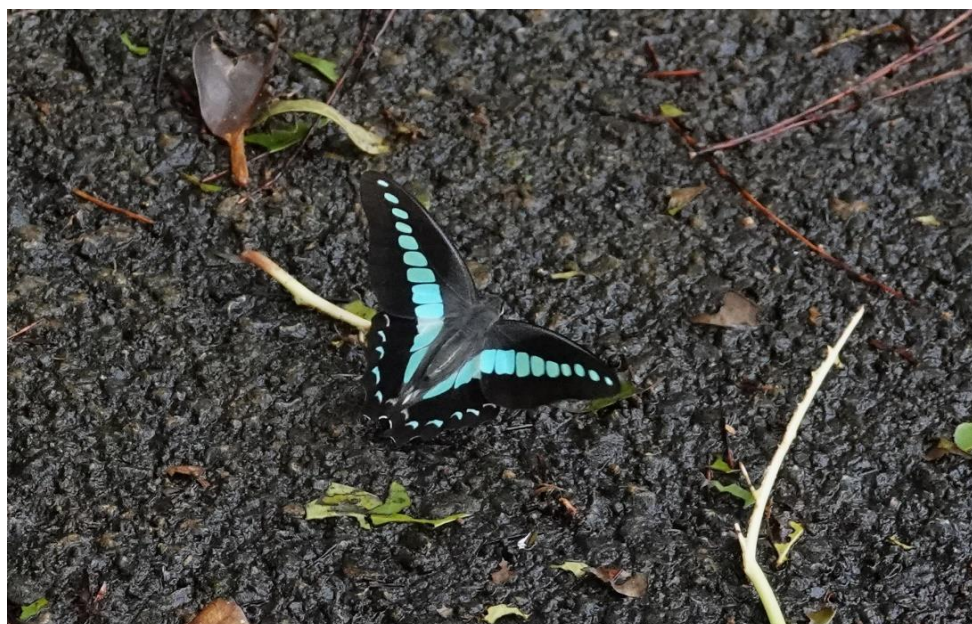
アオスジアゲハ

ヒメジョオンに飛来  
生田緑地 5月初旬



ミカドアゲハ

センダングサに飛来  
石垣島 2月中旬



アオスジアゲハ

路上で吸水  
石垣島 2月中旬

青がひととき濃い